

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森林環境教育		
タイトル	紅葉の名所 [筒森 もみじ谷]と[栗又の滝]		
実施日時	平成28年12月7日(水) 7時30分 ~16時		
実施場所	大多喜町 筒森もみじ谷 および 栗又の滝		
受講者	29名	F I C会員他スタッフ	3名

活動の内容： 千葉市みどりの協会主催 野外観察講座

関東最後の紅葉の名所を訪ねる講座。千葉駅N T T前 午前7時30分出発 午後4時帰着。

参加者は抽選で選ばれた29名。約3分の2が自然観察が初めてというグループ構成。

養老溪谷に入った辺りから紅葉・黄葉がみられはじめ自然と気分が盛り上がってきたところでイントロとして「[モミジ]と[カエデ]の区別ができますか？」の投げかけから案内を開始。

筒森 もみじ谷 往復5.5km

紅葉・黄葉・褐葉の川沿いの緩やかな道を上りながら紅葉・黄葉の仕組みを説明。

川沿いの崖でみられた幹回り70~80cm位と推測される自然の大木のイロハモミジに感嘆し、岩をしっかりと固縛している姿に驚愕。谷はほとんどがイロハモミジですが、コース上イタヤカエデ、エンコウカエデ、トウカエデも観察できました。

展望の良い場所で紅葉の絶景を堪能しながら、「日本の紅葉が世界一美しい」と言われる理由を説明。

そのほか、アキバギク、リュウノウギク、リンドウなど秋の草花、アオキ、マンリョウ（センリョウはなかった）、ウラジロなどクリスマス、正月にちなんだ植物などを観察しました。フユイチゴも全員食べられるくらい沢山実っていました。

森に仕掛けられた害獣とりの罠の表示、ハチ取りのトラップなどにも興味津々。

栗又の滝（養老の滝）

散策路が狭いこともあり、説明なしで個々人が自由に滝とその周辺を散策してもらいました。キセキレイ数羽が美しい声で鳴いていました。



紅葉を觀賞しながら坂道を歩く



川沿いにある大木のイロハモミジ



栗又の滝